

さがみ縦貫道路敷地内の安全性の確認状況について（中間報告その８）

記 者 発 表 資 料

- 平成15年2月17日（月）から実施してきました道路敷地内のボーリング調査については、4月15日（火）までにP11～P28区間及びP30～P34区間の既定の10mピッチのボーリング箇所、ならびにP27～P34区間の追加的なボーリング箇所（全体計199箇所）がすべて完了しました。
- ・ 3月10日（月）のボーリング作業中に、P27～P28区間において国土交通省が微量のマスタードガスを検知した箇所周辺の3箇所については、**再度4月3日（木）に県警機動隊（NBC対策隊）とともに検知調査を行った結果、マスタードガス等は検知されませんでした。**
- ・ **この他のすべてのボーリング箇所においても、**ボーリング作業時の大気検知調査及び土壌調査のいずれから**もマスタードガス等の危険物は検知されませんでした。**
- ・ また、P30～P31区間のボーリング作業中、7箇所からガラスの破片が見つかりましたが、発見時の検知及び周囲の土壌からはマスタードガス等は検知されませんでした。
- 道路敷地内の今後の調査については、これまでのボーリング調査結果等の報告を含め、有識者委員会に諮り、その結果に基づいて対応する予定にしています。
- 引き続き、既定のP28～P30区間の掘削調査を行うため、密閉した空間を確保するテント設置工事に着手します。この工事の完了は7月末頃の予定です。
- 平成15年2月27日の「第4回さがみ縦貫危険物処理に関する有識者委員会」で決定された、リモートコントロール方式の圧縮空気による掘削及び真空吸引による回収について、P33～P34区間で試験調査を4月17日に実施し、P28～P30区間の掘削調査への適用の可能性を検討します。

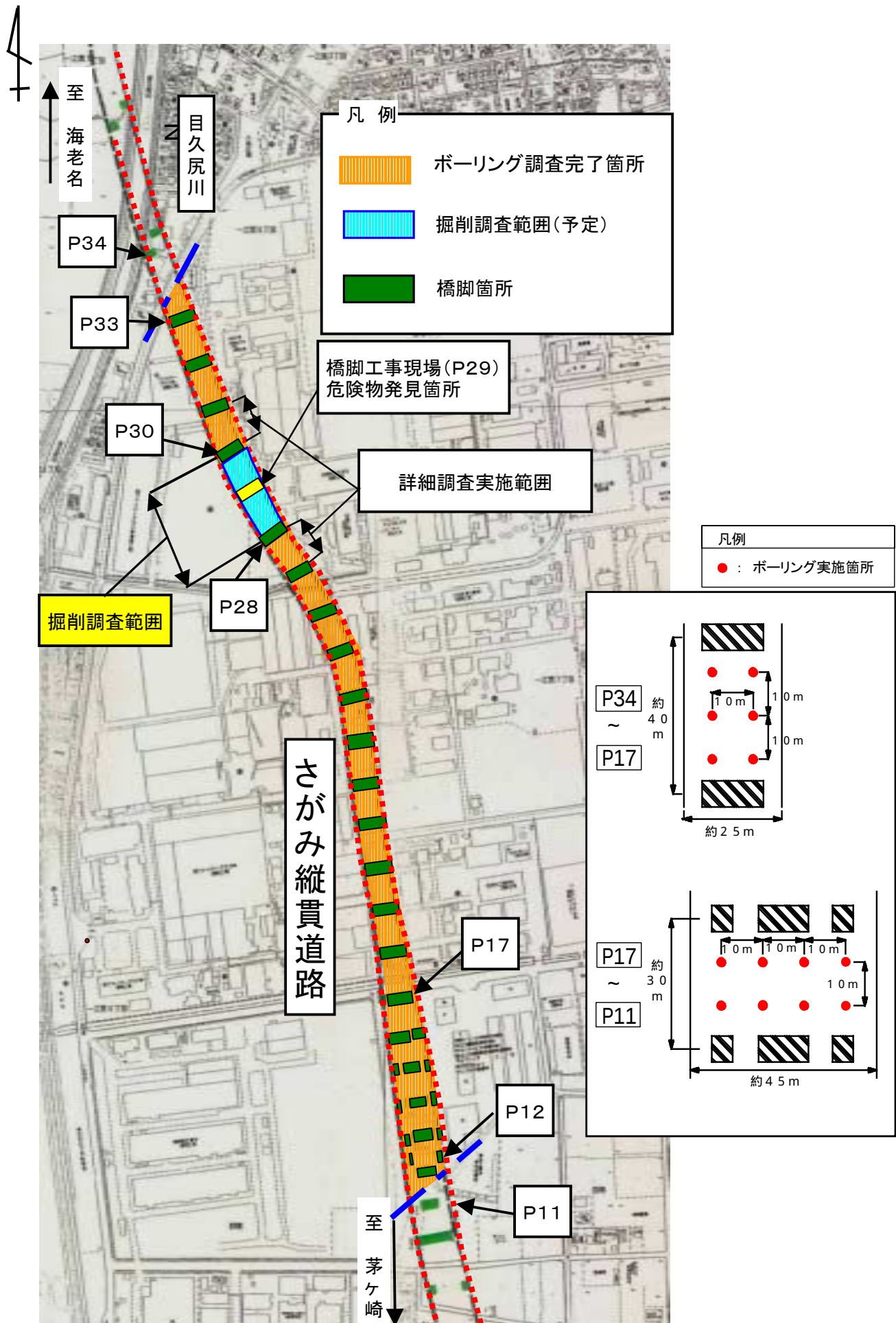
平成15年4月15日

国土交通省 横浜国道事務所
神奈川県 防災局 災害対策課
神奈川県警察 災害対策課
寒川町 町民部 防災交通課

発 表 記 者 ク ラ ブ
神奈川県県政記者クラブ

問 い 合 わ せ 先		
国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所	TEL	045 - 311 - 2981
副 所 長	小 口 安 雄	
工務課長	小 椋 公 之	
神奈川県 防災局 災害対策課	TEL	045 - 210 - 3512
応急対策担当課長	小 松 義 次	
神奈川県警察 災害対策課	TEL	045 - 211 - 1212
災害対策課長	青 木 壽 治	
寒川町 町民部 防災交通課	TEL	0467 - 74 - 1111
防災交通課長	福 岡 英 俊	

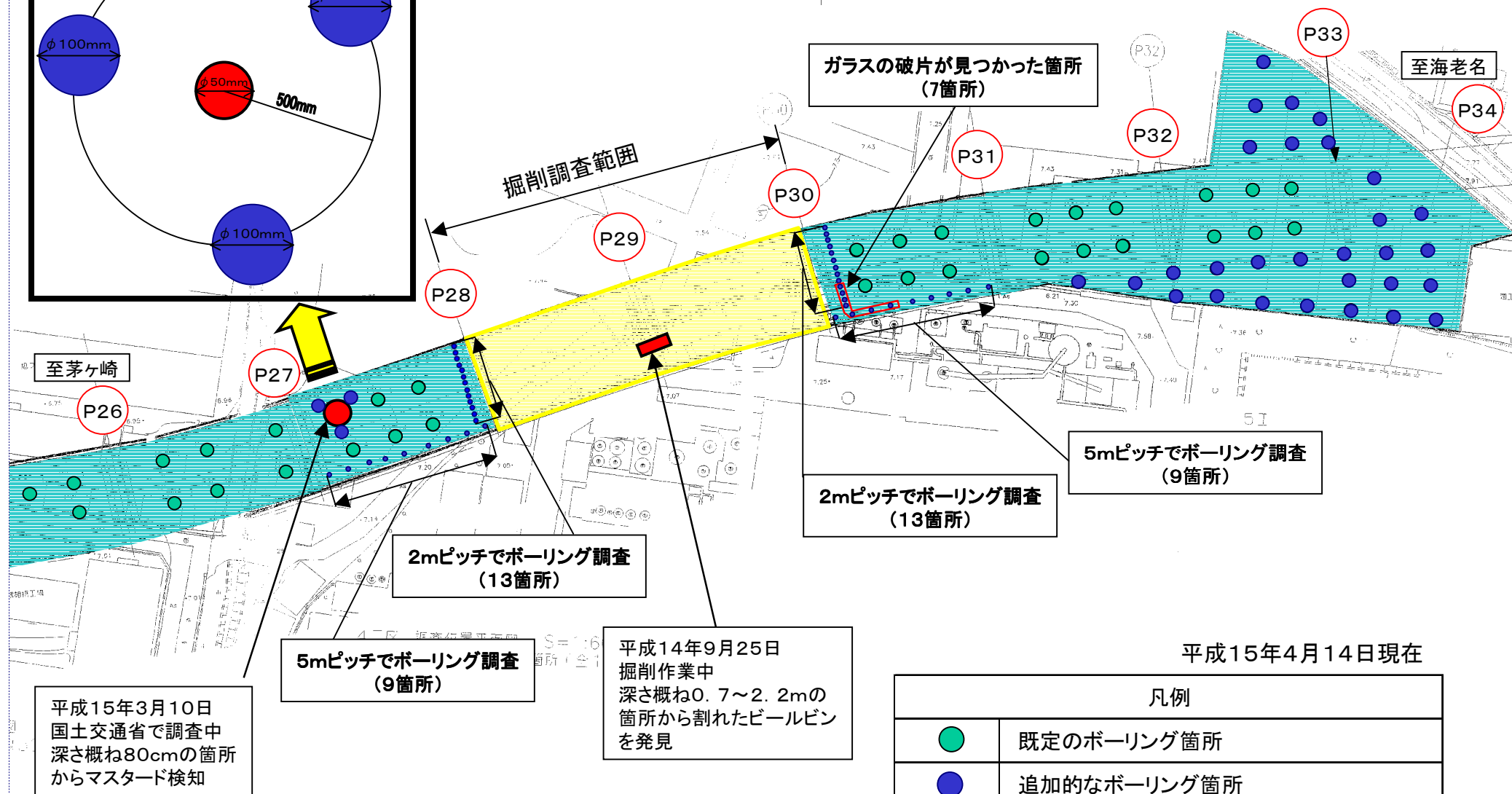
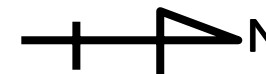
ボーリング調査全体図



詳細図

The diagram shows a central red circle representing a pipe with a diameter of $\phi 50\text{mm}$. Surrounding it are three blue circles, each representing a pipe with a diameter of $\phi 100\text{mm}$. The blue pipes are arranged in a triangular pattern around the red pipe. A dimension line indicates that the distance from the center of the red pipe to the center of one of the blue pipes is 500mm . The blue pipes are arranged such that they are tangent to each other and to the central red pipe.

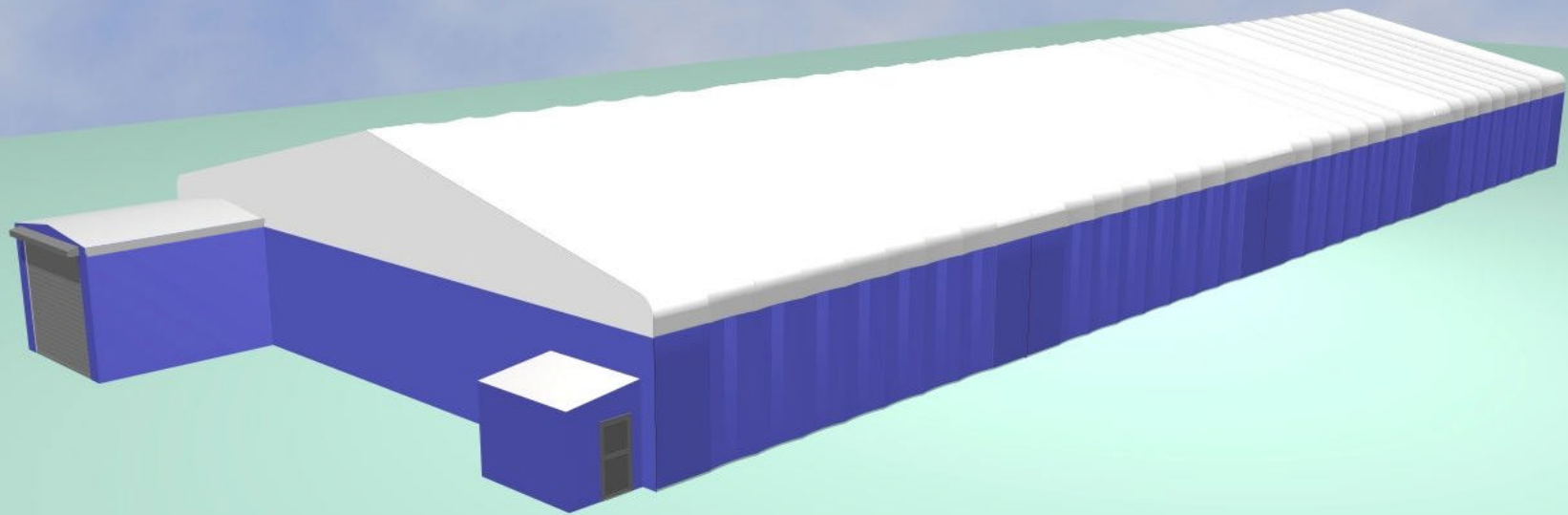
詳細調査範囲平面図



平成15年4月14日現在

凡例	
	既定のボーリング箇所
	追加的なボーリング箇所
	掘削調査範囲

道路敷地内調査 (P28～P30区間 掘削調査)
テントのイメージ



リモートコントロール方式の圧縮空気による掘削
及び真空吸引による回収



試験場における実験の状況